

へいせい ねんど
平成28年度 ビルクリーニング技能検定
きゅう
3 級 がっかしけんもんだい
学科試験問題

1. 試験時間 60分

2. 問題数 25題 A群 (真偽法25題)

3. 注意事項

- (1) 携帯電話、腕時計型端末の使用は禁止します。(電源は 予 め切り、バッグ等にしまって下さい)
- (2) 机の上に受検票及び筆記用具以外のものを置いてはいけません。
- (3) 電子式卓上計算機、その他これと同等の機能を有するものは、使用してはいけません。
- (4) 試験官の指示があるまで、この表紙を開けてはいけません。
- (5) 試験官の指示に従って、試験問題のページ数を確認して下さい。もし、異常があった場合には、黙って手を挙げて下さい。
- (6) 解答用紙はマークシートです。必ず鉛筆又はシャープペンシルを使用して下さい。
- (7) 解答用紙には、等級、受検番号、氏名を必ず記入し、受検番号の欄は、受検区分と受検番号を必ずマークして下さい。
- (8) 試験官の指示に従って、試験を開始して下さい。
- (9) 問題は、A群 (真偽法25題) の25題です。
 - ① 真偽法は、問題の内容が正しいか誤っているかを判断し、解答用紙に正か誤の、どちらか一つを記入します。
 - ② 多肢択一法は、問題に対応する選択肢の中で、正解と思う選択肢を一つ選び、解答用紙に記入します。
 - ③ 解答用紙の注意事項を確認し、A群、B群の解答欄を間違わないように記入して下さい
- (10) 試験中、質問があるときは、黙って手を挙げて下さい。ただし、漢字の読み方を含めて、試験問題の内容についてはお答えできません。また、退室後は試験が終了するまで再入室ができません。
- (11) 試験終了時刻前に解答ができあがった場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って下さい。試験開始後30分間は退出できません。
- (12) 試験中にトイレに行きたい場合は、黙って手を挙げて試験官の指示に従って下さい。
- (13) 試験終了の合図があったら、筆記用具を置き、試験官の指示に従って下さい。
- (14) 試験終了後、解答用紙は提出して下さい。問題用紙は持ち帰って下さい。

■ A群 (真偽法)

1. 建築物の美しさを保つために清掃作業を行う。
2. 花崗岩は、洗剤や薬品に強い。
3. ほこりは、建物の内部で発生するだけで、外部からは入らない。
4. タオルの拭き作業は、むらのないように拭く。
5. 洗剤は、原液のまま使うのが最も効果的である。
6. 真空掃除機には、吸水式（ウエット）と、吸塵式（ドライ）とがある。
7. エレベータの階数表示ボタンは、清掃しなくともよい。
8. 自在ぼうきは、毛先を下にして床面につけて保管する。
9. 塩化ビニル系の床材には、タイル状とシート状のものがある。
10. 階段の清掃は、床面の掃き拭きだけでよい。
11. ポリッシャーは、床みがき機やフロアマシンともいう。
12. 水拭き作業では、モップで拭いた跡を踏まないようにする。
13. トイレで使用する清掃用具は、他の場所でも使用してよい。
14. 清掃作業には、日常清掃と定期清掃がある。

15. 種類の違う薬品や洗剤を混合してはならない。
16. 床維持剤（ワックス）は、よごれの付着を防ぐ効果がある。
17. 清掃作業の事故で、最も多いのは「転倒」である。
18. 延べ面積が3,000 m²以上の建築物は、すべて「特定建築物」である。
19. 清掃従事者として、建築物を清潔で衛生的に保つために、技能の向上に努めなければならない。
20. リノリウム系の床材はアルカリ性の洗剤に強い。
21. 清掃作業では、仲間とのチームワークが大切である。
22. 階段には、床面を保護するために、ノンスリップが取り付けられている。
23. ビル内で発生する廃棄物の多くは、紙くず、雑芥・ちゅう芥類である。
24. カーペットは他の床材より、保温性に優れている。
25. 1級ビルクリーニング技能士の資格を持っていれば、建築物環境衛生管理技術者の資格者としても認められる。

3級 学科試験問題

< 正 解 >

A群 真偽法	
設問	解答
1	正
2	正
3	誤
4	正
5	誤
6	正
7	誤
8	誤
9	正
10	誤
11	正
12	正
13	誤
14	正
15	正
16	正
17	正
18	誤
19	正
20	誤
21	正
22	誤
23	正
24	正
25	誤